

## 分野:器官系統病態学

主科目 副科目	神経学 Neurology		区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)						
担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他							
板橋	◎園生 雅弘 松村 喜一郎	斉藤 史明 畑中 裕己		北國 圭一	村山 繁雄 永井 知代子	(非常勤講師) (非常勤講師)						
ちば	◎栗田 正	鈴木 仁 (病院准教授)			石川 広明 関 香奈子	助手 助手						
-												
	神経学Ⅰ (1年次)			神経学Ⅱ (2年次)			神経学Ⅲ (3年次)					
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>講義:頭痛、めまい、一過性意識消失、脳梗塞などの基本的プライマリケア神経疾患の診断、治療についての講義を受講する。 演習:入院受け持ち患者に関して、過去の文献を調べ、また教科書等も参照して、診断や治療方針に関してまとめて、カンファレンスで発表する演習を行う。 実習:上級医の回診に立ち会い、またその指導下で自ら患者の神経診察を行うことで、実際の診察手技について実習する。</p>				<p>講義:脳波検査、神経伝導検査などの神経生理検査の基本、末梢神経疾患、変性疾患、心因性疾患など種々の神経疾患の診断、治療についての講義を受講する。 演習:病棟・外来の脳波について、読影会で自ら読影し、上級医のチェックを受ける演習を行う。 実習:救急の脳波が必要な場面で、上級医の指導のもとに、ポータブル脳波計を用いて、脳波を記録する実習を行う。</p>				<p>講義:体性感覚誘発電位、針筋電図検査、単線維筋電図などのアドバンスの神経生理検査についての講義を受講する。 演習:病棟・外来の脳波について、読影会で自ら読影し、上級医のチェックを受ける演習を行う。 実習:お互いに、神経伝導検査や針筋電図検査を行う実習を行ったのちに、病棟・外来の、実際の患者でのこれらの検査を、上級医の指導のもとに施行する実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本プライマリケア神経疾患を適切に診療できる。</li> <li>系統的神経診察手技をもれなく施行できる。</li> <li>代表的な神経内科疾患を適切に診療できる。</li> <li>興味深い症例についての、地方会等での症例報告を指導医の指導の元で準備遂行できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>神経内科疾患一般について、もれなく適切な診療ができる。</li> <li>臨床的テーマを持ち、それについてのカルテ検討、文献的検討を行って、学会報告を準備遂行できる。</li> <li>研究遂行に必要な倫理申請、統計処理などについて理解し、遂行できる。</li> <li>脳波・筋電図、また神経心理などの検査手技の基本を理解し、遂行できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研究ないし学位研究についての国際学会発表を行えるように、英語での発表質疑対応能力の基本を身につける。</li> <li>筋電図検査手技の概要を身に付け、適切に患者に施行できる(神経生理研究室)。</li> <li>神経心理検査の概要を身に付け、適切に患者に施行できる(神経心理研究室)。</li> </ul>			
事前事後学修	<p>次回の講義・演習・実習範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の講義・演習・実習範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の講義・演習・実習範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%</p>				<p>受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%</p>				<p>受講態度(発表、課題提出) 50% レポート 50%</p>			

## ■主な演習(講義・実習含む)

	神経学Ⅰ (1年次)	神経学Ⅱ (2年次)	神経学Ⅲ (3年次)
板橋	火 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 プライマリケア神経疾患	火 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00 統計学基礎	金 曜日 19 : 00 ~ 20 : 00 筋電図検査アドバンス
	火 曜日 13 : 00 ~ 16 : 00 回診・神経診察実習	金 曜日 13 : 00 ~ 18 : 00 筋電図検査実習	金 曜日 13 : 00 ~ 18 : 00 筋電図検査実習
	火 曜日 8 : 30 ~ 9 : 30 症例発表演習	金 曜日 18 : 30 ~ 19 : 00 脳波読影	金 曜日 18 : 30 ~ 19 : 00 脳波読影
ちば	水 曜日 17 : 00 ~ 18 : 30 神経疾患のプライマリケア	水 曜日 17 : 00 ~ 18 : 30 各種神経疾患	水 曜日 17 : 00 ~ 18 : 30 神経難病
	水 曜日 8 : 00 ~ 11 : 00 画像カンファレンス, 病棟回診	水 曜日 8 : 00 ~ 11 : 00 画像カンファレンス, 病棟回診	水 曜日 8 : 00 ~ 11 : 00 画像カンファレンス, 病棟回診
	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 神経生理学的検査	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 神経生理学的検査	水 曜日 15 : 00 ~ 16 : 30 神経生理学的検査
—	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

## 教科書・参考書

- 1) ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版、南山堂
- 2) 神経筋電気診断の実際. 園生雅弘, 馬場正之編、星和書店.
- 3) バイオサイエンスの統計学—正しく活用するための実践理論、南江堂

## その他履修上の注意事項

試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。  
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	1) 脳神経外科学、放射線診断学・放射線腫瘍学、リハビリテーション医学、精神神経学、内科学系、生理学系、人体病理学・病理診断学など関連領域を1科目以上、3か月コースまたは講義・演習コースにて履修する。 2) 月曜日18時半～20時の脳神経セミナー(年5-6回)の講義と脳神経外科・放射線科との合同画像カンファレンス(月1回)を合わせて副科目とすることができる(通年で2単位)。
	共通科目	基礎・臨床神経科学特論(必修)

## 関連する専門医資格

- 1) 卒後6年以上で内科専門医受験資格(日本内科学会)
- 2) 卒後6年以上で神経内科専門医受験資格(日本神経学会)

## キャリアパス(モデルコース)

